

フロイディッヒ ・ フリュューゲル
Freudig.Flügel

24年
8月号

2012年8月10日
編集・発行／大正会館内
大正フロイデ：西風 勝

暑中お見舞い申し上げます

歌声に
希望をのせて

合唱指導 小川 はじめ

大正フロイドの皆様方は
発声もかなり身に付き、楽
な声で美しく響かせて演奏
出来るようになれました。
今般、行政改革の風が吹
き、大正フロイドにも大幅
に運ばれる方が沢山いらつ
しやる位の厳しい暑さが続
いています。どうぞ皆様、
御身体ご自愛くださり、
元気に歌を歌い、この夏を
乗り切つて下さい。



「滯」と「蔵王」

ソプラノ
高城弘子

「漕」とは海・湖・川で流
れの速さが違い、その作用で
底がみぞ状に深くなつた部
分が、船の水路に利用され
る。と、辞書にありました。

初めは地味な歌で、ウー
ンと思ったけど、練習を重
ねるうちに、何と深みのあ
る言葉をちりばめてあるで
はないかと感じ出しました。
ちぬのうみ（茅渟海）と

は和泉と淡路の間の海の古
称で現在の大阪湾南部一帯
のことだそうです。

溢れんばかりの生命力と包み込むやさしさ、歌詞とメロディがマッチしている。私達は作詞家、作曲家の思いをどれだけ理解して歌えるでしょうか？

「蔵王」は若々しい曲です。今は「蔵王讃歌」と「早春」の二曲ですが、どんな四季が待っているのか今から楽しみです。

長男が就職して初めての赴任先が仙台支店で、冬になると日曜ごとに宮城蔵王で、スキーを楽しんだそうです。

東日本大震災の六年前に
京都へ転勤となり、幸いにも

事なきを得ましたが、家を流された同僚の方もいたそうです。

自然の恐ろしさと素晴らしさを合わせ持つこの地球、この「蔵王」を歌う時は、希望を持って歌えたらいいなと思います。

指導して下さい。先生方には感謝しています。

西本先生は、曲のイメージを分かり易くセンスよく

まともに下さる、小川先生は、少しの音程の狂い・リ

ズムの乱れも見逃さず、細かくチェックをして下さり、

角地先生は、恐がらずにもつと声を出すよう、自らの美

しい声で指導して下さいます。

そしてどの先生も日本語の美しさを大切に、子音を

しつかり歌うようにと釘を
さされました。

美しい日本語で、その景色が見えるようにしつかり

練習します。



いつもお世話になっております！